

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

28年 1月～ 3月期

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社 名古屋支店
指定期間	平成 27年 4月 1日 ～ 平成 31年 3月 31日
所管課	豊明市高齢者福祉課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考	
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】					
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		
	人人体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A		
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		
	【利用者に関する業務】					
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A	3月の浴室工事により、期間中浴室利用者が減	A		
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A		A		
	【保守点検並びに清楚業務等】					
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A		
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A		B	施設周りの配慮が必要	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A		A		
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A		A		
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		
	備品は適切に管理しているか	A		A		
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		
	【事業の実施に関する業務】					
	指定事業は適切に実施されたか	A		A		
	自主事業は適切に実施されたか	A		A		
	【個人情報の取り扱い】					
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		
	【①に係る指定管理者の自己評価】 ・給茶機配管詰まりの解消修繕、浴室排水詰まりの解消修繕、南扉補修修繕、娯楽室カーテン取替え修繕を実施。					
	【①に係る施設所管課の評価】 施設・設備の修繕は適時行われて、早い対応をしている。しかし、施設周辺への配慮(除草など)がほしいところである。施設に遊歩道が隣接しているため、施設利用者以外の方も施設のことを見ているので。				区分評価	B

区分	項目	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
② サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A		A	
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	利用者アンケートを実施(1月)	A	
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	要望書が届き次第早急に回答を掲示	A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A	
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A	
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	マッサージ器(スカイウェル)の設置による利用者満足度の向上	B	継続利用者が数名存在も利用者増には繋がらず	B	利用者増につながっていない
	浴室用物販の開始による利用者満足度の向上	B	利便性の向上を目指すも利用者増には繋がらず	B	利用者増につながっていない
	HPIによる広報・PR活動により利用者の増加	A		B	高齢者に親しみやすい表示、表現を要する
【②に係る指定管理者の自己評価】 ・無料施設における有料サービス(スカイウェル、浴室物販)ということで、依然として継続利用者以外の使用頻度は上がらない状態が続いている。今後は広報や配布チラシなどを活用して地域での周知を図る。					
【②に係る施設所管課の評価】 ・自主事業サービスについては利用者があることから、台数の変更など検討課題にしていることは良いと思われる。また、高齢者が使用することもあり、ホームページを閲覧する人は限られる事があると思われるが、体育館と同じページから見られるが画面のイメージに検討が必要と思われる。 ・紙面である広報は良く見られているので、さらに活用を期待したい。				区分評価	B
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B	管理初年度のため出費増加	B	次年度への課題
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	
	経理処理は適正に行われているか	A		A	
	収入増加のための取組がなされているか	B	スカイウェル・浴室用物販の開始 今後は定着が課題	B	新規利用者の増加に対する工夫が必要
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】 ・管理初年度の為、必要物品の購入が多く黒字収支とならなかった。				
【③に係る施設所管課の評価】 ・無料使用施設であるため、収支が黒字になることは難しいと思われる。利用者の特性を見て今後の取り組みに期待したい。				区分評価	B

【項目評価】

- S (優良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A (良好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B (課題あり) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S (優良) : 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良好) : 項目評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 項目評価にBがある。
- C (要改善) : 項目評価にCがある。